



丹波篠山国際博

日本の美しい農村、未来へ

丹波篠山国際博だより

問い合わせ

丹波篠山国際博実行委員会事務局 ☎558-8891

詳しくはこちら



11月を楽しむ【祭事・イベント】

- 第3回げんき・げんき祭り=1日(土)10:00~15:00/黒豆の館駐車場
- つくって挑む! 謎解きクリエイティブワークショップ=1日(土)・2日(日)10:00~15:00/東吹集会所
- 丹波篠山市文化の祭典 ○多紀会場(ハートピアセンター)=1日(土)○篠山会場(篠山市民センター)○城東会場(城東公民館)=1日(土)・2日(日)・3日(月・祝)○丹南生涯学習フェスティバル(四季の森生涯学習センター)=2日(日)・3日(月・祝)○西紀のつどい(西紀公民館)=3日(月・祝)
- 八上地区文化祭・八上マルシェ=1日(土)・8日(土)~9日(日)/高城会館 ※八上マルシェは9日(日)10:00~14:00のみ。
- 丹波篠山菊花展=1日(土)~16日(日)9:00~16:00/篠山城跡三ノ丸広場
- 丹波篠山もみじ三山=1日(土)~30日(日)9:00~16:30/大國寺(味間奥)、高蔵寺(高倉)、文保寺(味間南) ※各寺入山料必要。
- 多紀連山アルペンルート登山=2日(日) ※8時30分までに現地に集合。
- 語りベサークルふるさと「昔話のはじまり」=2日(日)13:00~/城東公民館
- Mr.Jazz Quartet ミスター・ジャズ・カルテット in丹波篠山=3日(月・祝)16:00~/田園交響ホール
- 丹波木綿保存会 秋季展示会=8日(土)~9日(日)10:00~/鳳凰会館(河原町)
- 丹波木綿物語一機神様とともに=8日(土)~9日(日)・11日(火)/中央図書館
- 亥の子=8日(土)15:00~/川原集落
- みたけの里 文化の祭典と収穫感謝祭=9日(日)/みたけ会館
- 高蔵寺もみじ祭り=15日(土)・16日(日)/高蔵寺 ※入山料必要
- ぼたん鍋シーズン=11月中旬~3月中旬
- 郷土料理クッキング=15日(土)10:00~14:00/四季の森生涯学習センター
- うまれる Women'sCollection ウィミンズ・コレクション=15日(土)15:00~/田園交響ホール
- 丹波篠山多肉植物国際博=16日(日)10:00~15:00/JA丹波ささやま本店前
- 丹波篠山市展=16日(日)~22日(土)9:30~16:00/丹波篠山市民センター
- 大山ふるさとウォーク=16日(日)9:30~14:00 ※追入公民館前集合。
- 清滝山観音堂参拝=18日(火)8:30~11:00/清滝山観音堂(小立)
- 古代米ドライフラワーを使った飾り作り=18日(火)13:30~/岡野文化会館
- 米国空軍太平洋音楽隊 パシフィック・ショーケース=18日(火)18:30~/田園交響ホール
- ベジベジきままるシェ=22日(土)10:00~15:00/Community Space KIMAMA(旧東吹集会所)
- 山の芋フェア=22日(土)~令和8年2月1日(日)予定
- 高城山へ登ろう会「雲海に会えるかい?」=22日(土)6:30~
- 篠山大謎=23日(日)14:00~/篠山城跡大書院南側広縁
- 第2回直会市=23日(日)10:00~14:30/丹波篠山春日神社(黒岡)
- 里山から風の旋律 アフタヌーンティー体験=23日(日)11:00~、15:00~・24日(月・休日)11:00~、14:00~/居七十七(大山上)
- 亥の子=26日(水)18:00~20:00/谷山公民館
- オーガニックテーブルマーケット=30日(日)/丹波篠山市民センター
- 「夢みる給食」上映会&お話し=30日(日)○上映会10:00~、14:00~ ○お話し13:00~/丹波篠山市民センター

国際博NEWS | ~9・10月の情報をまとめてお届けします~

清滝山観音堂御開帳

村雲地区の清滝山で9月18日、清滝観音堂が開帳されました。この開帳行事は奇数月の18日に行われ、小立と垂水の2集落から2人ずつ計4人が禰宜として、堂の掃除や般若心経や御詠歌を唱えるなどして、長年大切に守られています。かつては毎月、御開帳を行っていましたが、住民の高齢化が進んだため、2016年から2カ月に1度に変更されました。



お堂には子授けにご利益があるとされる観音像が祀られ、子宝祈願の人は観音像のそばにある人形を1体持ち帰り、出産後には新しい人形をお返しする習わしがあり、観音像の周りには成就のお礼に奉納された人形が並べられています。栗野康治さんは「観音さまの御利益は科学的に証明できませんが、御加護は感じています。高齢化で管理は難しくなっていますが、とにかくつないでいきたい」と話されました。

蛙踊り

今田町上小野原の住吉神社で10月4日夜、収穫の喜びと感謝を神に表す神舞「蛙踊り」が奉納されました。神事は約700年前から受け継がれ、兵庫県の無形民族文化財に指定。稲の収穫風景を表現した「惣田楽」と田んぼに舞い降りたツルが豊作に感謝する「いず舞」で構成されています。



当日は、住吉神社神舞保存会(藤本清仁会長・17人)の会員らが踊りを奉納。最初は「惣田楽」で、竹の短冊を連ねた「ピンザサラ」を手にした5人の踊り手が締太鼓の音に合わせて「ヘーツ、ヘーツ…」と声を発しながら、稲刈りから脱穀までの作業を表現しました。続いて「いず舞」では、踊り手が両手を広げて羽ばたくしぐさを見せた後、勢いよくジャンプし、豊作に感謝しました。小野原住吉神社神舞保存会副会長の太治邦彦さんは、「蛙踊りは5つの村(上小野原、下小野原、辰巳、休場、四斗谷)にとっては象徴的な行事です。氏子が年々少なくなっていますが、形を変えても伝統を次代につないでいきたい」と力強く話されました。

情報 ア・ラ・カ・ル・ト

丹波篠山紅葉バスツアー ~重森三玲の名園を訪ねる~ 参加者募集

- 開催日時 11月30日(日)13:30~16:20
- 訪問先 正覚寺庭園(龍珠庭) → 洞光寺 → 住吉神社庭園「住之江の庭」 → ささやまの森公園
※現地ガイド付き。
- 集合場所 三の丸西駐車場
- 定員 20人(先着順)
- 申し込み方法 市ホームページ(右記2次元コード)から申し込みいただくか、市役所本庁および各支所に備え付けの申込書に必要事項をご記入の上、地域計画課景観室あて郵送または直接ご提出ください
- 申し込み締め切り 11月21日(金)必着
- 問い合わせ 地域計画課景観室 ☎552-1118



特集
タウントップニュース
HOT
情報トップアップ
市政リーダー
インフォメーション
おでかけ相談
はぐくみ
街かどレポート
まちの話

夢への かけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

篠山産業高校生、測量部門で 「ものづくり全国大会」出場

11月8・9日の両日、高知県で開催される「第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会」測量部門に篠山産業高等学校が参加します。出場するのは、電気建設工学科建設コースの3年生、板谷啓杜さん、大西伊路さん、塚本颯馬さん、藤田翔誠さんの4人。同校は、8月に行われた近畿大会を制し、初の全国大会出場を決めました。

測量部門の競技は、競技会場の地面に描かれた五角形の1辺の長さや内角の角度を専用器具で測る外業と、その精度を調べる内業からなり、正確さやスピードを競います。4人は、4月からこの大会に出場するため、授業や夏休み、放課後の時間を利用して腕を磨いてきました。全国大会に向けて、板谷さんは「もっと技術を磨き、全国大会優勝をめざしたい」、大西さんは「みんなで切磋琢磨して、全国優勝したい」、塚本さんは「チームワークを高め、優勝できるようがんばりたい」、藤田さんは「自信をもって大会に臨み、全国1位を獲りたい。」と、それぞれ意気込みを語りました。



塚本颯馬さん、藤田翔誠さん(上段左から)
大西伊路さん、板谷啓杜さん(下段左から)

大学連携でんしよばと

問い合わせ
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎FAX506-6628
丹波篠山フィールドステーション ☎FAX506-2366

えきラボ通信



地域しごとサポートセンター丹波 起業家離陸支援事業の開催

地域しごとサポートセンター丹波が共催する「事業の土台づくりセミナー」が開催されました。

兵庫県が開設する「地域しごとサポートセンター丹波」では、起業前のご相談から起業後の離陸支援までを幅広くサポートしています。篠山イノベーターズスクールを卒業し、この春開業された松崎薫さんの開業後初めてのセミナーを、地域しごとサポートセンター丹波が支援しました。



松崎 薫さん(篠山イノベーターズスクール 10期生)

昨年、早期退職を機に地域課題の解決に貢献したいとの思いから、篠山イノベーターズスクールに入学しました。今年5月には、起業や事業拡大をめざす方を支援する「ガイドランナー事業Soria」を立ち上げ、8月には地域しごとサポートセンター丹波の協力を得てセミナーを開催。志ある方々と新たなご縁をいただきました。Soriaの最初のプロジェクトは、大苧地区の地域おこし協力隊・山中望さんと共に「丹波篠山・山城ロゲイニング」を進めており、12月の開催に向けて準備中です。

これからも地域の起業家に寄り添い、課題解決に尽力していきます。Soriaの活動に関心のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。

地域しごとサポートセンター丹波 ☎506-6628 ✉cbsupport@tscapital.jp



お気軽にご相談を♪

ユネスコ工芸都市加盟認定から10年。活躍する工芸家たちの手仕事に迫り、作品に込められた想いや制作のこだわりを紹介します。



みやざきひでひこ 宮崎英彦さん えみ 恵巳さん (ガラス工房るん)



丹波篠山市の西谷で工房を構えるガラス作家、宮崎英彦さん・恵巳さん夫妻。神奈川県で修行をされていた2人は、「自然豊かなところで制作がしたい」と、年1回展示会を開いていた丹波篠山に移住し、2008年に「ガラス工房るん」をオープンされました。工房の名前である「るん」はタイ語で虹のこと。英彦さんが虹色の作品を多く作られていたこともあり、親しみも込めて「るん」と名付けられました。



食器類を中心に花瓶やアクセサリー、茶道具などの作品を幅広く作られている宮崎さん夫妻。丹波篠山を拠点に工房を開くなら、何か地元に貢献したものを制作したいと考えようになり、「特産品と融合した作品をつくりだすことで、丹波篠山の名前が日本全国に少しでも知ってもらえれば」と、黒枝豆の自家栽培を始めました。

催しのご案内

■丹波篠山クラフトウィーク2025
王地山クラフトマーケット

10月25日(土)
10:00~16:00
王地山陶器所

黒豆の灰を混ぜ合わせ、高温で溶かしこんで彩色した「黒豆硝子」を開発。浅葱(あさぎ)や翡翠(ひすい)、黄金(こがね)、琥珀(こはく)色の多彩な色ガラスが生まれました。「地域の方には畑を貸してもらったり、耕してもらったりするなど、感謝しかありません。地域の方の協力があったことでガラスです」とその喜びを話されます。

その一方で、その年の豆の出来具合によって、思ったとおりの色が出せないことも大きな悩みです。しかし、「その年の色が選べて楽しいと話されるお客さんの声があったからこそ、今まで続けることができました」といいます。今後は、「黒豆の色を最大限きれいにさせるオブジェの製作にも取り組みたいです」と、熱い思いを話されました。



今月のこにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、懇談会または1人15分程度の面談です。

とき 11月10日(月) 13:30~16:00
ところ 西紀しゃくなげ会館
問い合わせ 市長公室 ☎552-5109

ふるさといちばん

市長の **HOT** とーく

丹波篠山の時代をつくろう



敬老のお祝い

敬老会では、各地を回り市長のお祝いの芸を披露しました

敬老の日(9月15日)にちなみ、9月に市内の満101歳以上の方を訪問し、ご長寿をお祝いしています。今年、米寿(満87歳)の方は314人、百賀(満99歳)の方は49人、100歳以上の方は60人いらっしゃいます。そして、市内にお住まいの最高齢の方は、男性は103歳、女性は109歳です(9月1日時点)。



 伊熊きぬ子さん (102歳・郡家)	 上田久さん (101歳・追入)	 岡崎玉枝さん (101歳・藤坂)	 奥山きのゑさん (101歳・篠山すみれ園)
 河南敦子さん (101歳・網掛)	 小林敏子さん (102歳・ささやま老人保健施設)	 小前真砂美さん (102歳・味間南)	 隅田民江さん (102歳・黒岡)
 遠山津多乃さん (104歳・あおやまの郷)	 的手鈴枝さん (101歳・住山)	 森本政雄さん (101歳・長安寺)	 山内富子さん (101歳・ささやま老人保健施設)
 吉田慶次郎さん (102歳・大野)	 米村幸子さん (101歳・ささやま老人保健施設)	<p>◀和寿園/前列左から 山崎モトエさん(102歳) 加茂前竹夫さん(103歳) 太治野みつゑさん(101歳) 古屋しげこさん(104歳)</p>	

地元で働く選択肢

Vol.15

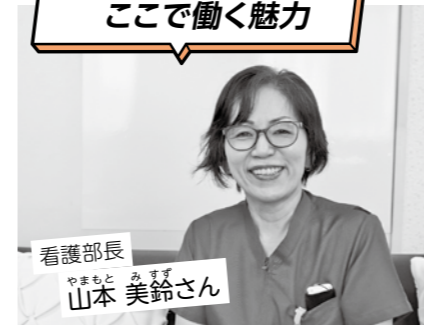
新型コロナウイルス禍以降、地方での就職や移住を検討している人が増え、地方回帰が注目されています。

市内ではどんな企業が活躍しているのか、インタビューを通じて紹介します！
創造都市課 ☎552-5796

医療法人社団紀洋会 岡本病院
堀彩美さん 23歳
勤務年数：2年目
出身：丹波篠山市
卒業校：篠山鳳鳴高等学校

医療法人社団紀洋会 岡本病院
穴瀬乃愛さん 23歳
勤務年数：2年目
出身：丹波篠山市
卒業校：篠山鳳鳴高等学校

看護部長に聞く！ ここで働く魅力



岡本病院の強み・魅力

私たちが提供する看護は、地域に根差した医療。入院から退院、ご自宅での生活まで見据えて、患者さんとそのご家族をトータルでサポートできることが強みです。また、当法人は介護施設もあり、看護師は医療と介護の両部門でキャリアを積むことができます。ライフイベントに合わせて、柔軟な働き方ができることも魅力です。

共に学び、共に働く喜びを

超高齢社会の中で、地域に根差した医療と一緒に担ってくれる若手が入ってきてくれることは、私たちにとって大きな喜びです。地域医療・介護に興味がある方と一緒に仕事ができたらうれしいです。看護師の資格は、生涯ライセンス。私たち紀洋会の仲間と学んでいきましょう。

看護師をめざしたキッカケ

私が入院していた時、看護師さんが退院後の生活も考えて親身にサポートしてくれました。この経験から、自分も患者さんの生活全体をサポートできる仕事がしたいと思いました。また、介護が必要になった祖父を見て、家族を支えられるようになりたいと思ったことも理由です。

数ある病院の中から、岡本病院を選んだ決め手

社会人1年目からじっくりと学べる自然豊かで落ち着いた環境です。地域の方との距離も近く、人とのつながりや温かみを日常で感じられる住みやすい町なので、ここで地域とのつながりを大切にしながら働きたいと考えました。

これから看護師をめざす学生にメッセージを！

社会人は学生とは違う大変さもありますが、周りの方々と支え合いながら、前向きに取り組む姿勢を持つことで、何事も乗り越えられます！

看護師をめざしたキッカケ

親が病院で働いていたため、病院は身近な存在でした。本格的にめざすようになったのは、テレビドラマを見たことがきっかけです。人の役に立つ仕事や、人が幸せに暮らす上で最も大切な健康の根幹に携われる医療の仕事に魅力を感じました。

実際に働いてみて感じた、岡本病院の魅力

ワークライフバランスがしっかりと取れることです。ここでは働く時は全力で、休みたい時はきちんと休みが取れます。オンオフのメリハリをつけられるので、プライベートも充実しています。

これから看護師をめざす学生にメッセージを！

岡本病院は年の近い先輩がマンツーマンで指導してくれます。看護の知識だけでなく、精神面でも手厚くサポートしてくれるので、初めての現場で不安があっても安心して飛び込めます。人間関係もよく、ストレスのない最高の職場です。



医療法人社団紀洋会 岡本病院

所在地：丹波篠山市東吹 1015-1
TEL：594-1616
事業内容：患者のニーズに沿った医療の提供

地域に根差した医療を、この場所で。

丹波篠山市で約40年以上にわたり地域医療を支え続けてきた岡本病院。一人ひとりの職員が互いに切磋琢磨し、日々成長できる環境がここにはあります。